

51 スポーツ

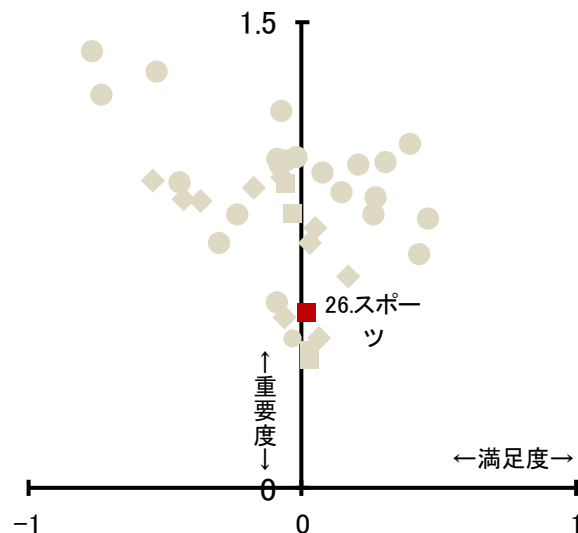
(1) 関連グラフなど

【問2】暮らしの満足度・重要度

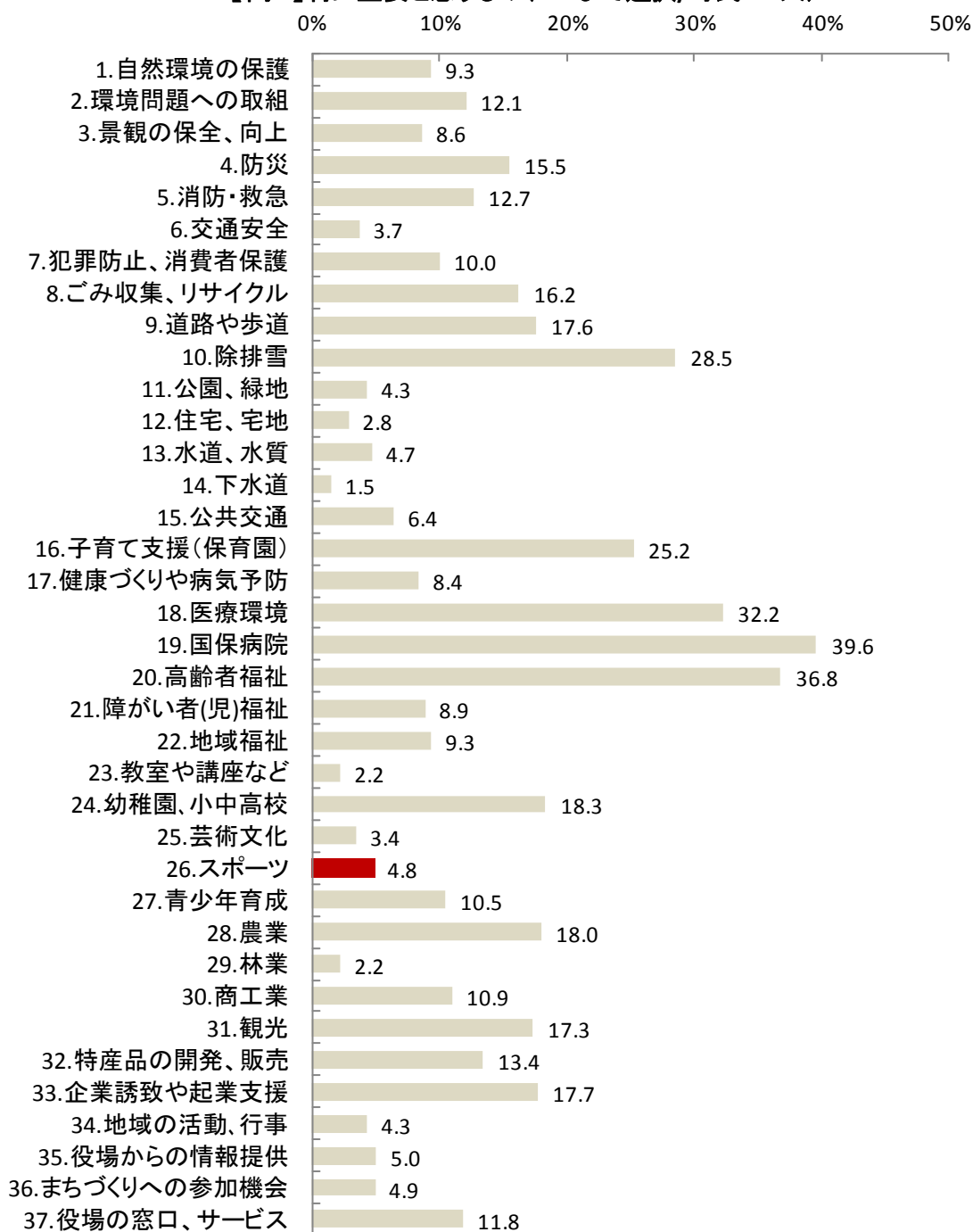
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

【問3】特に重要なもの

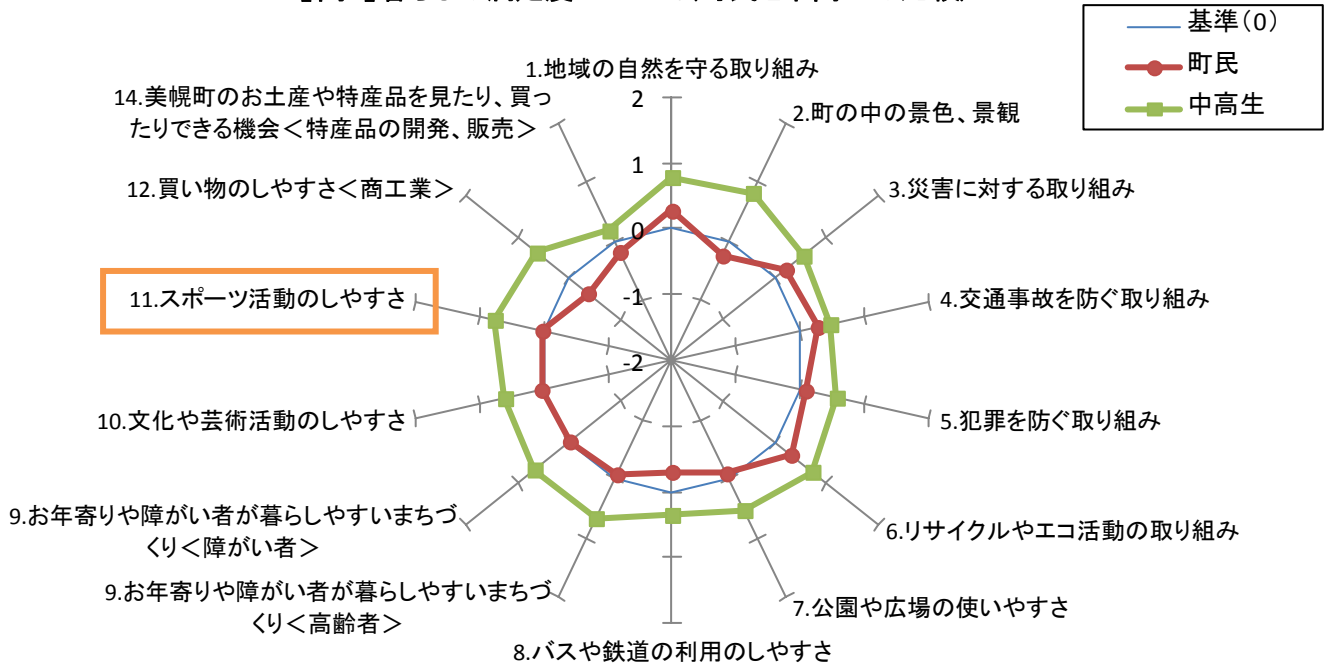
問2と同じ37項目の中から、
特に重要と思う項目を
5つ選んでもらった位置づけです。



【問3】特に重要と思うもの(5つまで選択/町民813人)

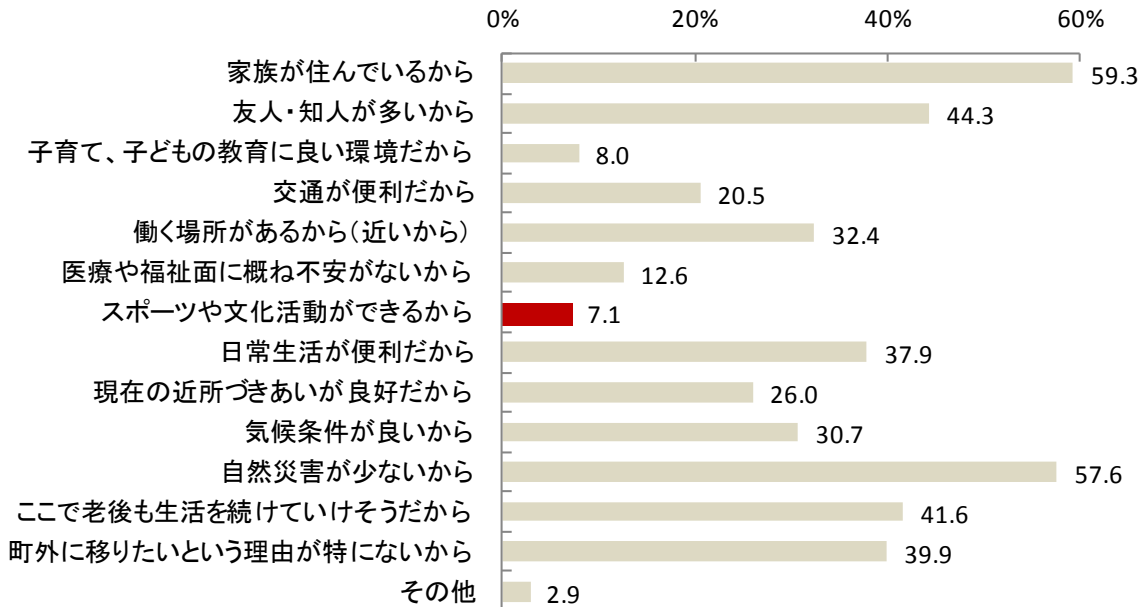


【問2】暮らしの満足度について(町民と中高生の比較)



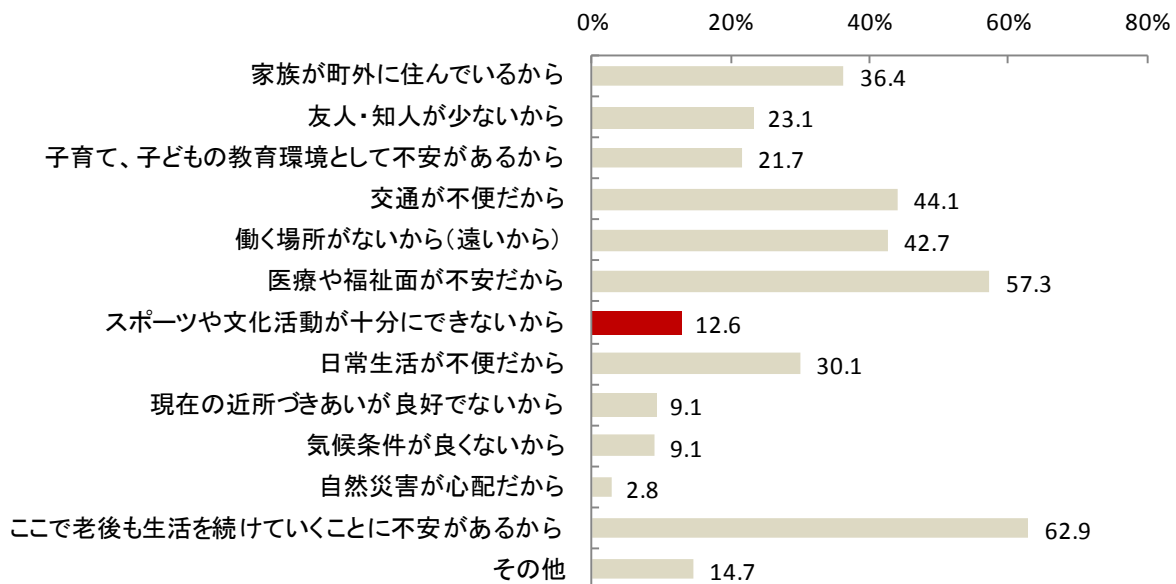
町民

【問4-①】町内に住み続けたい理由(すべて選択/589人)

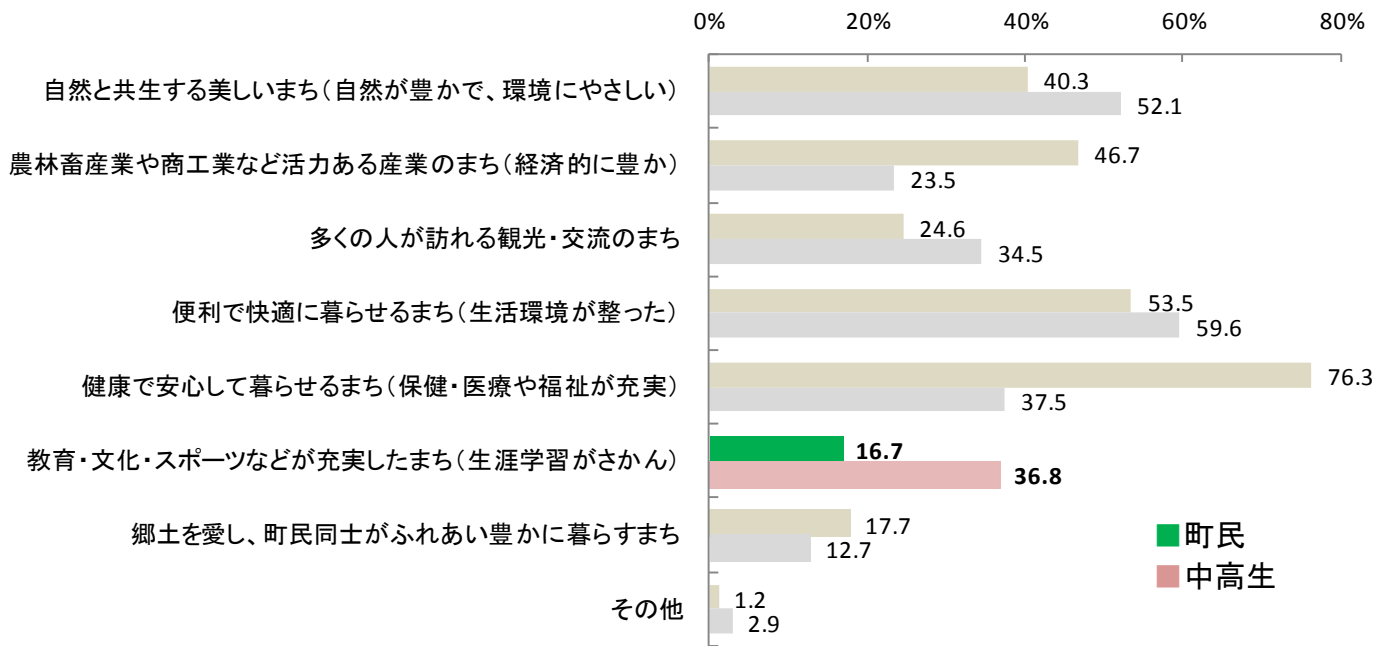


町民

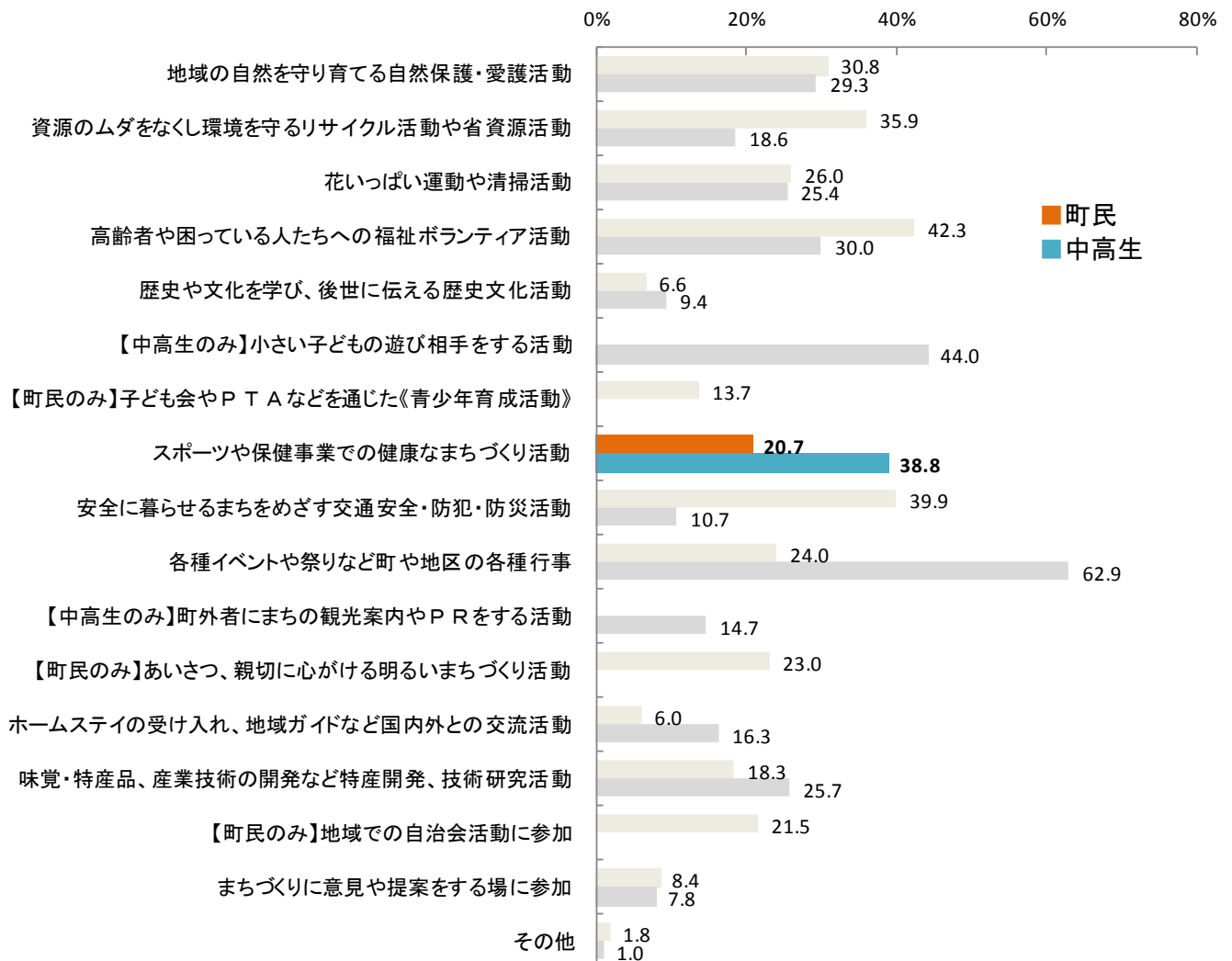
【問4-②】町外に移りたい理由(すべて選択/143人)



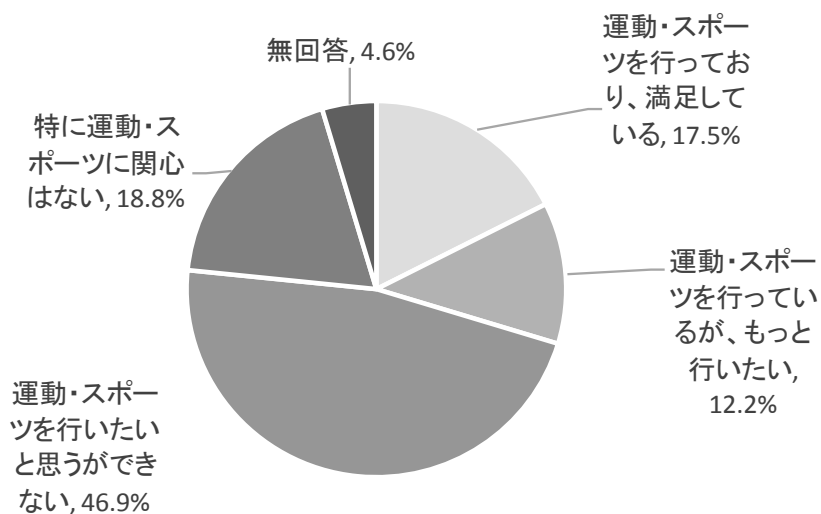
【問6】将来の美幌町に望む姿(3つまで選択/上段:町民、下段:中高生)



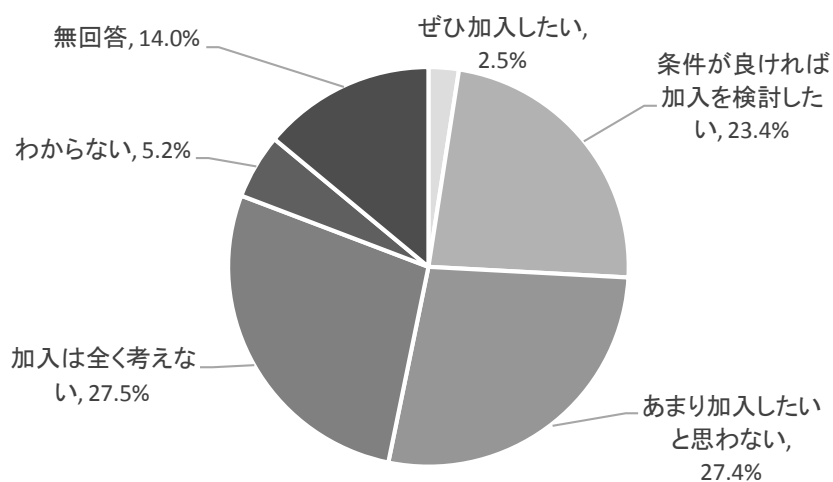
【問7】参加したい(できる)まちづくり活動(あてはまるものすべて選択/上段:町民、下段:中高生)



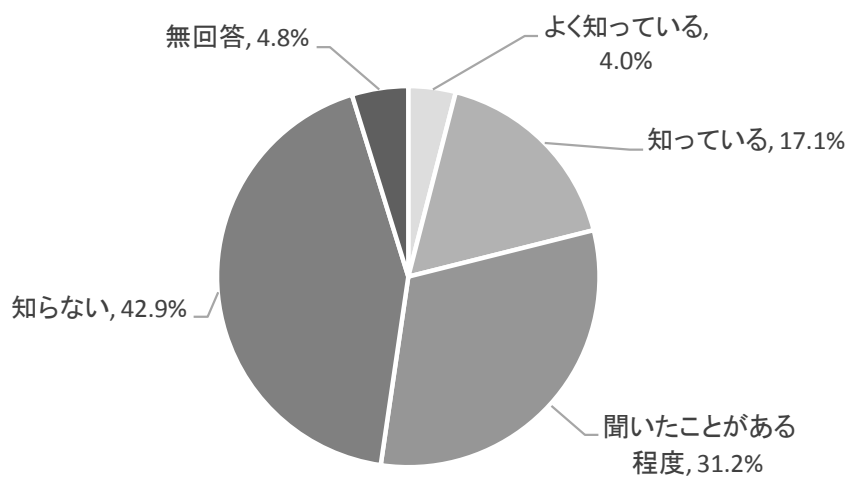
運動の満足度(n=650)



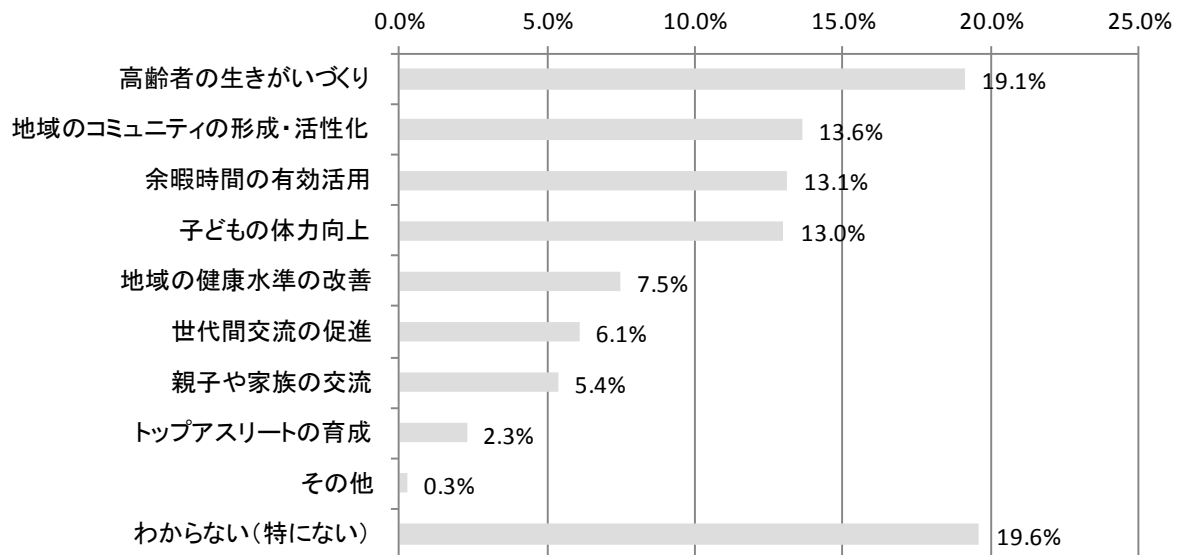
スポーツに関する団体・サークルに加入してみたいか(n=650)



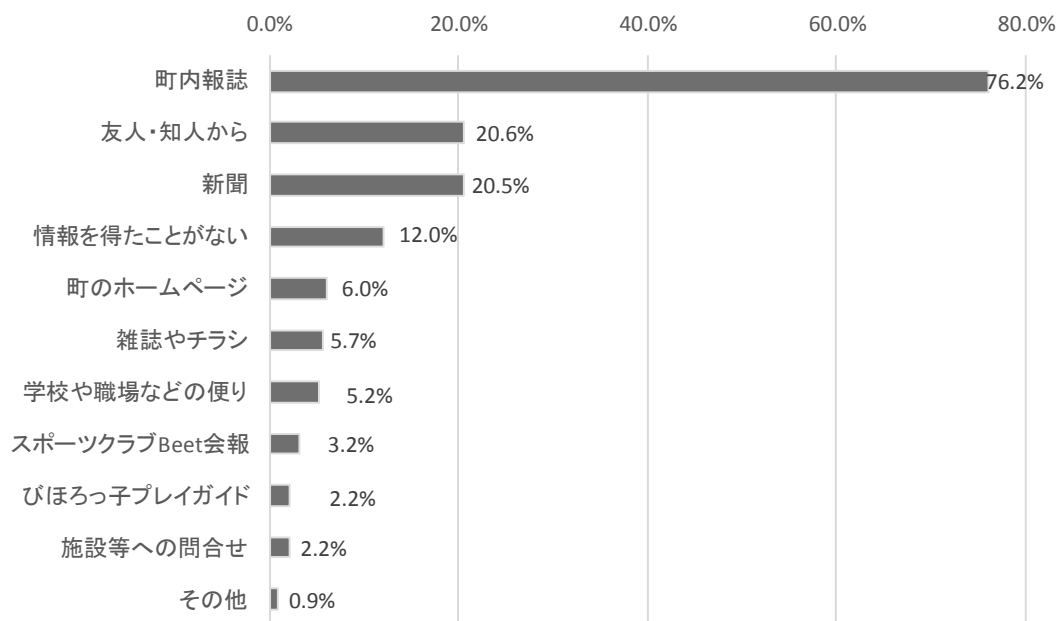
「びほろスポーツクラブ」の認知度(n=650)



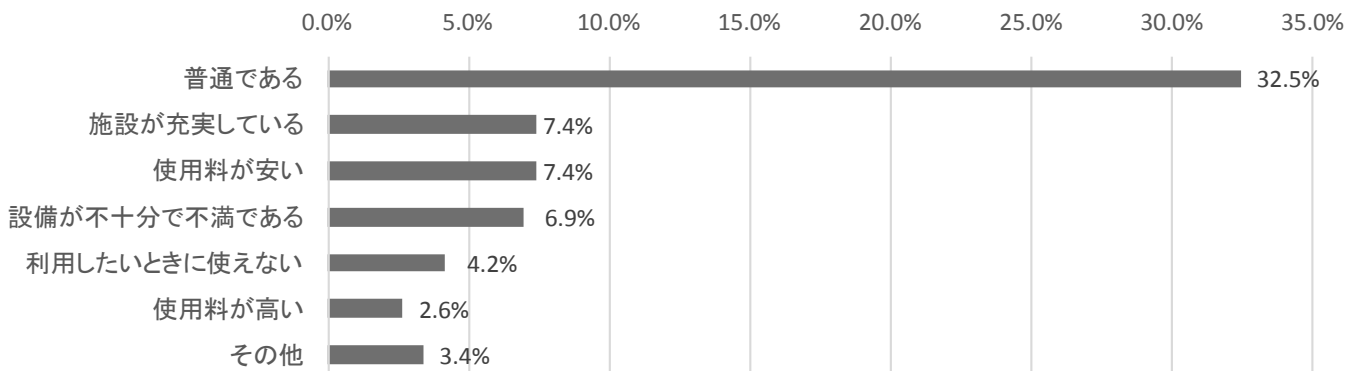
スポーツクラブに期待する効果



スポーツに関する情報入手方法(複数回答)



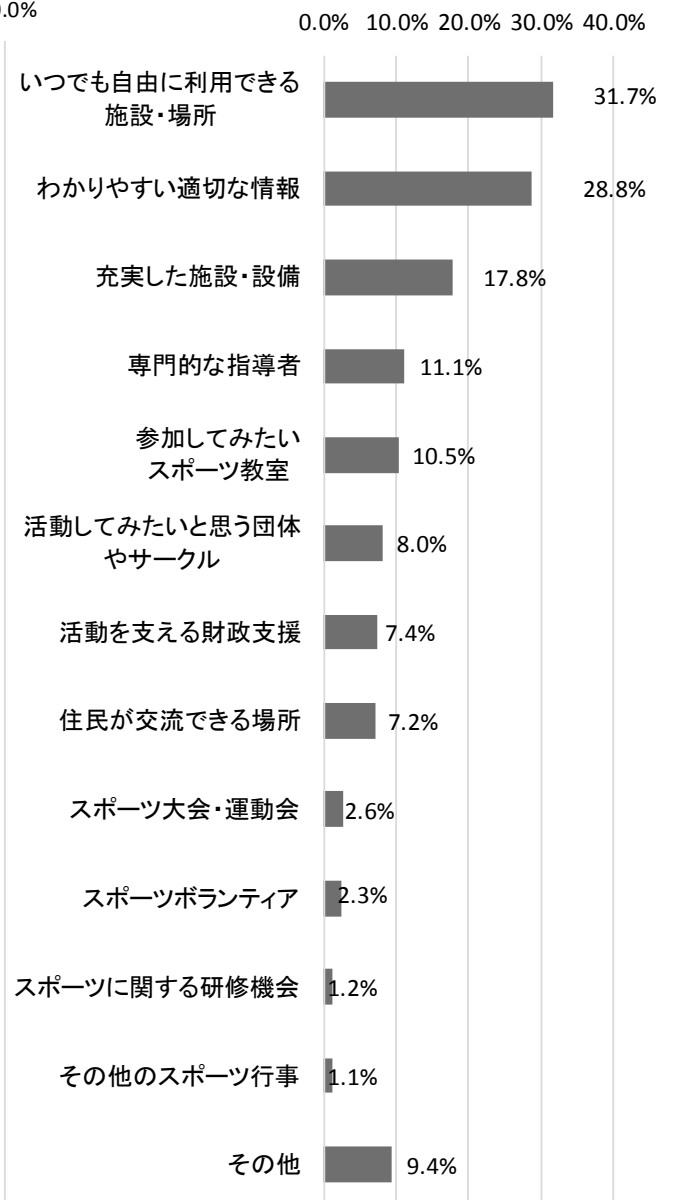
利用施設の評価(n=650)



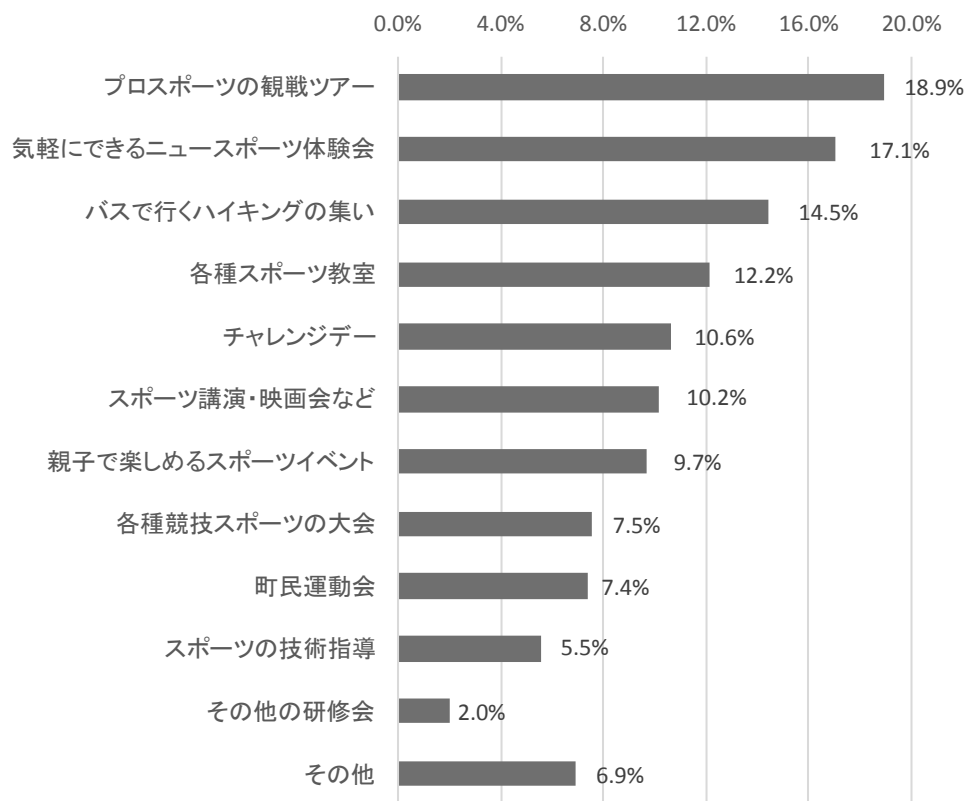
1年間で主に利用したスポーツ施設(n=650)



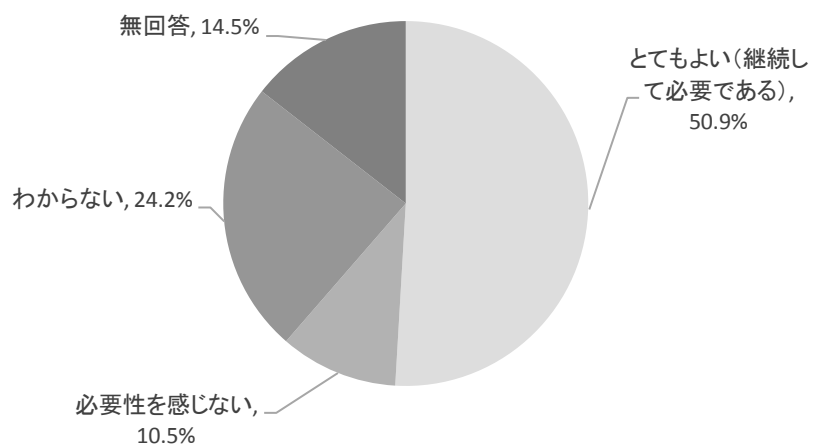
美幌町のスポーツ環境における不足 (n=650)



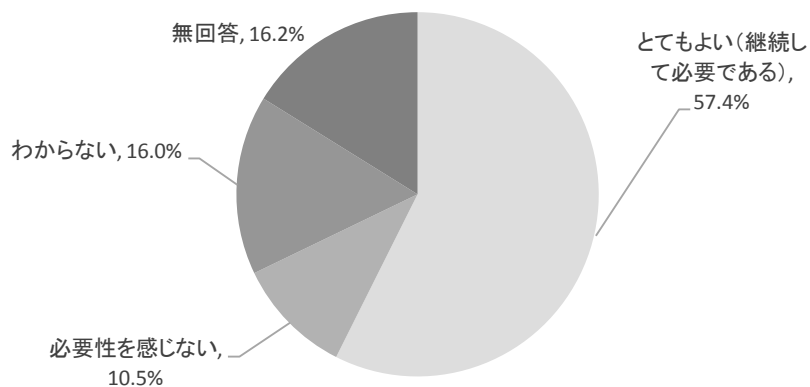
参加してみたいスポーツ行事(n=650)



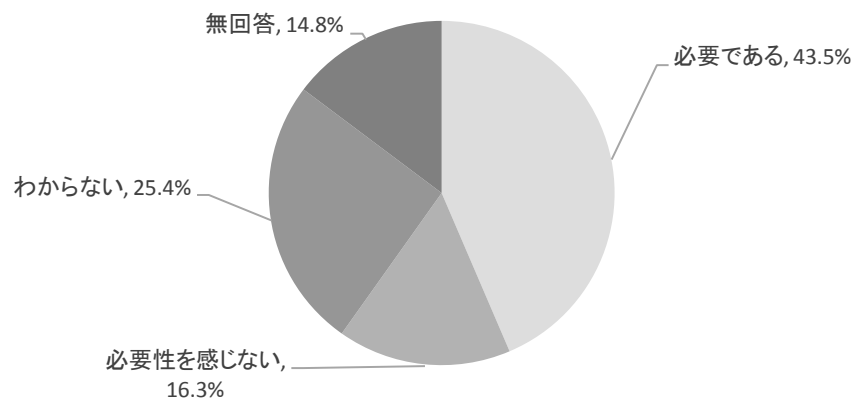
スポーツイベント評価(ビホロ100kmデュアスロン大会)(n=650)



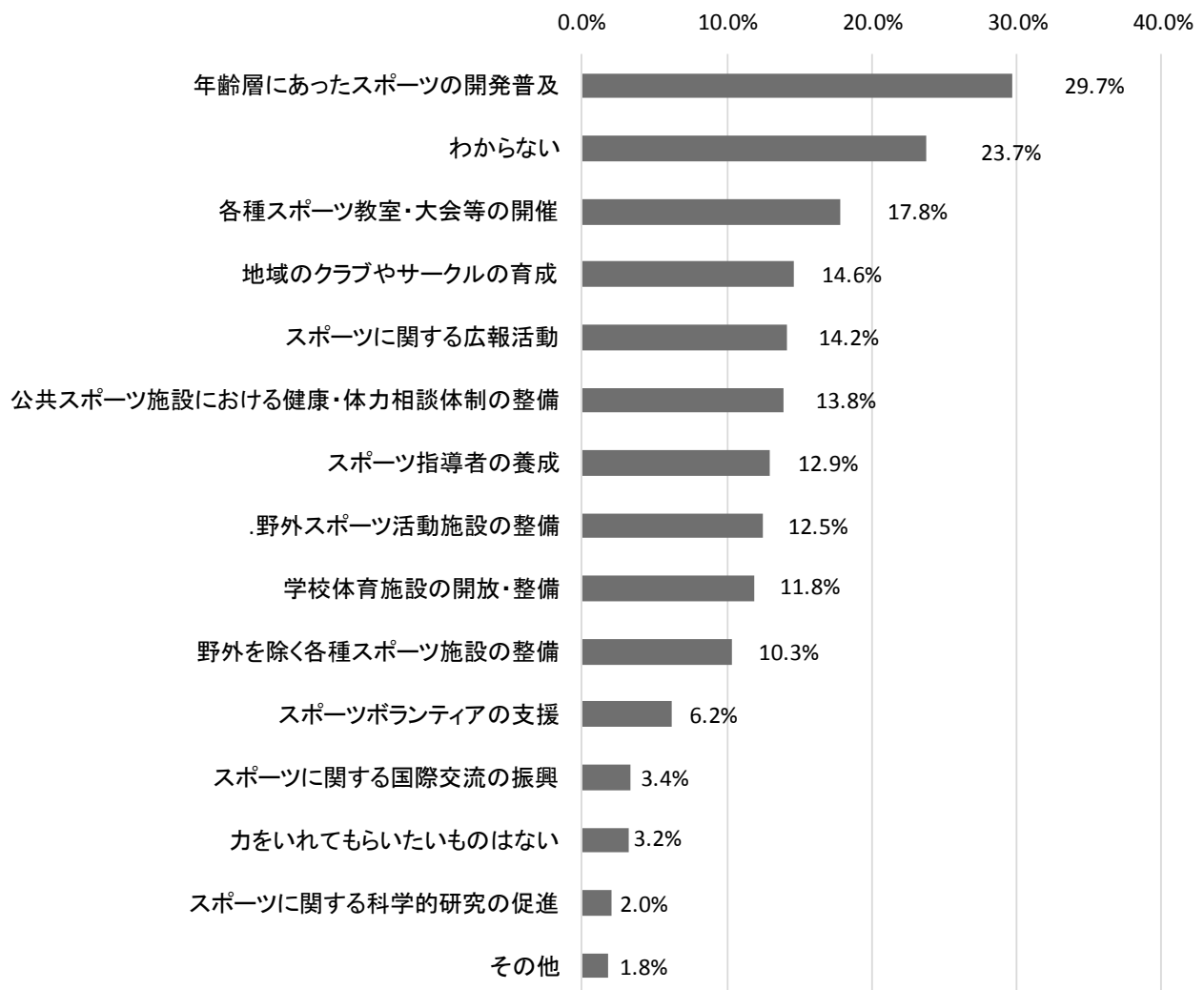
スポーツイベント評価(スポーツ合宿(ラグビー合宿など))(n=650)



スポーツイベント評価(室内多目的運動場の整備)
(n=650)



自治体のスポーツ振興への期待(複数回答)



＜生涯スポーツの振興＞

- ・運動をしていない人、スポーツから遠ざかっている人、スポーツが苦手な人が気軽にできる運動を実施できるきっかけ作りを工夫すること
- ・運動・スポーツに対する意識を高め、正しい認識と運動の大切さ必要性を理解してもらう機会をつくること
- ・スポーツクラブの役割はとても重要であり、組織の強化と住民が主体となって支えていく意識を持たせ、関係団体との連携や必要に応じた行政支援を行うこと
- ・指導者の育成や優秀な人材の活用と確保は必要不可欠である
- ・スポーツ振興する上で、子育て支援やスポーツ環境の充実を促進し人口を増やしていくなど、町全体での取り組みをすすめていくため、他部局・関係機関との連携強化が必要
- ・障がい者スポーツの理解と健常者とともに活動できる機会を積極的にすすめることが大切である
- ・町のスポーツ振興計画を策定する必要があるのでは
- ・スポーツの普及や地域コミュニティの活性化を図るためには、スポーツを通じて人と人とが集い交流できる場を設けることが大切である

＜スポーツ施設の整備、活用＞

- ・施設は老朽化しており、維持補修・更新整備が必要であるが、予算の確保も含めた計画的な整備構想が必要
- ・施設が分散し集約が望まれるが、既存の施設の有効活用や利用の調整、多目的な施設の活用方法や利用するターゲットまたは身近な住民など既存施設の付加価値を高めていく工夫も必要
- ・季節的な施設の有効活用やスポーツだけでなく、観光・商業など複合的な施設活用の検討も必要
- ・運動機会の少なくなる冬場の施設活用やオリンピックを輩出している冬季スポーツに特化した取り組みも必要ではないか
- ・冬期間使用できる室内多目的ドームの必要性が高いのではないか。少子高齢化がすすむ上でも冬期間の運動する場をつくる必要がある
- ・医康費の削減に向けた取り組みとして介護予防における取り組みや高齢者コミュニティの場を提供する必要がある

＜スポーツ活動の促進＞

- ・スポーツ合宿の受入体制と団体への支援強化
- ・町の特性、環境の良さを積極的にアピールすること
- ・指導者の資質向上のための研修機会と後継者の育成や審判・ボランティアなど学校・団体との連携協力体制を強化すること
- ・学校授業や部活動など人材の派遣や活用をさらにすすめ、団体・組織のネットワークと関係を築いていくこと
- ・年代に応じた生涯スポーツの普及・振興
- ・スポーツを通じた青少年をはじめとする人材の育成と活動の支援

(2) 現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
生涯スポーツの振興	スポーツ振興体制の充実	体育協会や総合型地域スポーツクラブなどの団体活動の充実が図られた。	多種多様化するスポーツに対応できる体制づくりが課題である。 行政では専門職である体育主事が減員（2名から1名）となっている。	団体活動の更なる充実と、体育主事の増員。
	総合型地域スポーツクラブ※の自立支援	各種スポーツ教室や普及活動により会員の増加を図り、地域に根付いたスポーツクラブとなりつつある。	平成26年度をもってスポーツ振興くじの助成（5年）が打ち切られるため、自主財源での運営に向けての取り組みを強化する必要がある。	会費の見直しを含めた自主財源の確保を行い、クラブの自主運営を行う。
	指導体制の充実と支援体制の強化	文部科学省の委託事業により、スポーツ政策協議会を開催し、体制づくりを行った。	指導者の担い手不足と会員の高齢化が進んでいる。	指導者の発掘により、継続性のある指導体制を構築する。
スポーツ施設の整備、活用	既存施設の定期的維持補修	既存施設については随時補修を行っている。 パークゴルフ場については、建設候補地を検討した結果、現在の網走川河川敷のコースの上流側を選定した。 室内ゲートボール場については、多目的型施設の建設を検討する。	建設費用（財源）の確保と使用料の見直し。 維持管理費用の低減。	老朽化施設の大規模改修を耐震化工事と併せて実施する。
スポーツ活動の促進	スポーツ合宿の誘致と団体支援	ラグビーなどの合宿が実施されており、地元の競技力向上及び経済に影響が大きい。	施設を占有することで、住民の利用が制限される。 宿泊施設の関係上、同時に多くの団体の受入が困難。	管内市町との協働体制が確立されたことにより、市町間で調整を図ることが可能になった。 住民のスポーツ活動の支障を低減すべく、施設の整備を図る。
	指導者の確保、育成、研修機会の充実	スポーツ少年団の指導者登録や研修会への派遣を推進している。	競技経験者の町外流出により、指導者の担い手不足と高齢化が進んでいる。 仕事との両立が困難な指導者がいることと、ボランティアにより金銭的負担が生じている。	町内での就職先の確保と職場の理解が必要である。
	競技スポーツ技術力の向上	オリンピック・パラリンピックを頂点とし、全国・全道大会への出場者が年々増加している。	少子化・高校の間口減少等により団体競技の人員確保が課題になっている。	スポーツを通じた学生の誘致活動や、運動施設の整備充実を図る。

※総合型地域スポーツクラブ：地域住民が主体的に運営する複合的なスポーツクラブ。さまざまなスポーツにおいてレベルや世代を越えて集まり、楽しむことができる場をめざしている。（文部科学省が平成7年度より進めている）

(3) 意見、提案

☺ : 小学生 ⚡ : 中高生 ♀ : 育児ママ 自 : 自衛隊 88 : 高齢者 ● : 町民 ○ : 職員

【美幌町で好きなもの・こと】

- ☺ 柏ヶ丘公園
- ☺ 網走川パークゴルフ場
- ☺ B&G のプール
- ☺ オリンピック・パラリンピックの選手が多い、会える
- ☺ リリー山の高さ

【将来なってほしい美幌町の姿】

- ☺ スポーツができるところ
- ☺ オリンピック記念館がある
- ☺ 陸上コースがタータン（ゴム張り）になっている
- ☺ プールがいっぱいある
- ☺ クロスカントリーコースがある
- ☺ リリー山を大きくしてほしい

<スポーツ施設>

- ★ 競技場をタータンにしてほしい
- ★ スポセンちゃんとしてほしい
- ★ 大会などがしっかりできる体育館など
- ★ プールをもっと町の近くにおいてほしい
- ★ 陸上競技場をタータンにしてほしい（砂の所）
- ★ 中学校の近くにスポーツができるところが増えてほしい
- ☺ サッカーコートの芝が良くない
- ☺ スタジアムがほしい
- パーク場が温泉のそばと聞いていたので、パークをして、温泉をゆっくり楽しみたいと思っていましたが、がっかりです。（女性・70代以上）
- 河川敷以外へのパークゴルフ場の整備。（女性・60代）
- パークゴルフ場を今後2億掛けて、現在のパークゴルフ場の上流の河川敷に作る計画と聞きますが、現在のパークゴルフ場で充分なので、2億円の財源があれば、町道（市街地を優先して）の舗装、整備を進めた方が良くと思います。現在のパークゴルフ場は、利用料金が100円と安いので、コースの整備費や人件費を賄うだけの利用料金にすべきだと思います。（特に、町外者は町内者より高くすべきと思慮します。）（女性・70代以上）
- パークゴルフの料金の見直しについて。65才以下は4千円→3千円。65才以上は2千円→2千円。75才以上は無料→1千円。65才以下の人は仕事をしている人が多く回数が少ない。1日券については、（一律）100円→町民100円、町外者300円。町民のためのパークゴルフ場であり、町外の人が多くて待時間が長いため、町外者は上げるべき。（男性・60代）

- 公共施設を充実させてほしい。運動しようとスポーツセンターに行っても、いつも貸し出し。気軽に運動が出来ない。(女性・10～20代)
- 冬のスキー場ですが、夜中でも電気がついている様子？(女性・70代以上)
- ぜひ、ドーム型のスポーツ施設を作ってほしい。(60代)
- 過疎債の恩恵を活用し、本町のスポーツ施設を集約、充実させ、子供からお年寄までみんなが何時どこでも気軽に楽しめる施設を作り、健康増進に繋げ、町民の健康度を高め、特に本町が医療、福祉の先進として地域をリードすることを目ざしてはどうか。スポーツは今後多種多様化し、一種目当たりスポーツ人口が少なくなり、スポーツの町村合併がすでに始まっている。(男性・70代以上)
- 各種スポーツ施設を集約化・整備することで、大規模な大会、イベント等が開催できれば町外からの集客は見込めると思います。
- 屋内スポーツ施設整備の検討
- 屋外ドームを建設し、サッカー、野球、ペタンクなど冬期間等多目的に利用できる環境整備
- しゃきっとプラザ健康雄浴室の有効利用。冬期間B & Gプールが利用できない間だけでも、週に何回か1～2時間だけでも子供たちに泳がせてあげられるようにする。
- 近年、スポーツ少年団や中学校の部活動の中で、全道大会や全国大会に出場するような明るいニュースが多く、これからの活躍が期待されるところであります。課題としては通年的に練習できる施設が無く、冬場の練習がどうしても制限されてしまうため、夏のスポーツに対応できる屋内練習場が必要であると考えます。
- 陸上競技場整備、トラック（タータン）の整備。
- 現在、各種スポーツ施設が分散しているため、大規模なスポーツ行事や合宿が組みづらい状況にあると思います。みどりの村周辺に集約し、毎週スポーツイベントが行われている状況を作れば、町外からの人出を見込める。
- びほろドームの建設。札幌ドームに匹敵する又はそれを超えるドームの建設。芸能コンサート・全国又は国際スポーツ大会の開催により、全国からの集客がみこまれる。その集客力で宿泊施設会社の誘致。また、ドーム建設により美幌の町は有名になり、移住者が増え、人口が増えれば、企業が参入し町は潤う。中途半端なものを作るとダメ。
- スポーツ施設の利用時間拡大。自由な時間に利用できる施設が限られている。
- スポーツ関連施設はあちこちに点在しすぎて、まったく計画性に乏しい。野球場のナイター照明は低すぎてゲームに支障があり、隣接にサブ球場や試合前の練習スペースもなく大会開催等に支障をきたしている。ラグビー・サッカー場は最低でも2面（芝を休ませる等維持管理を考えれば3面）以上隣接していないと、大会の開催、複数の夏季合宿等に支障がある。パークゴルフ場もだんだん町から離れていく。スキー場、博物館、キャンプ場周辺にスポーツ施設と宿泊温泉施設を集約させていき、活用されやすい総合施設にしていこう。
- スポーツの盛んな美幌町であるが、利用施設・場所が少ない。スポーツ施設を増やすべき。
- 新しいスポーツ施設建設は予算的に厳しいので、今ある施設を改修し、活用していくべきであるが、スポーツセンターは、素足で行う武道等が行えない状態であり、大きな大会等が実施不可能な状態である。コミセン等の改修の際は各運動団体にアンケート調査等を行い、競技内容に問われない改修を実施して欲しい。
- 高齢者ばかりが、運動施設を利用しており、若者が運動する場所が少なく、スポーツ離れを助長しているように感じる。

<スポーツ活動支援、育成>

- パークゴルフ教室を開いて欲しい(道具の貸出、子連れOK、お茶が飲める)(男性・40代)
- 気軽に参加できるサークルなどスポーツをできる場を増やしてほしい。(女性・30代)

- スポーツや趣味で参加しているサークル等の指導員が高齢者で、良い指導が出来ていない。
(女性・60代)
- スケート選手等、美幌町から数名の選手がでていますが、今後もたくさんの選手がでてくるよう、各団体の支援強化を図る。
- 多くのオリンピック選手が輩出されているが子どもの頃からの活動のたまものと思う。「自分もいつかは」との夢が持てるよう、年次的にでも指導者の招聘や備品等購入の助成を。
- 各運動団体の指導者はあくまでボランティアであり、一個人の限界もあるので、各競技の衰退を防ぐために、町職員、自衛隊等の町内在住の専門的な指導者は美幌町に住む町民の責務として、町として指導者の確保を半強制にでもさせるべき(特に少年団の指導者)。HPを有効活用し、各スポーツ団体の普段の練習風景等取材し、広く町民に広報してほしい。

<イベント>

- オリンピック選手が出る等、スポーツの印象も定着しつつあるので、町民スポーツ大会等で町の活性化。
- スポーツ施設の充実化が進んでいるため、スポーツイベント等を開催してみてもは。パークゴルフ場の設備が充実してきているので大々的に大会を開催してみてもどうか。
- スポーツ大会等をもっと多く実施する。美幌町ではスポーツをしている人を見かけるが、個人で体を動かしていると思われるので周りの人と競い合う気持ちが足りないと思われるし、競い合う場面が少ないと思う。様々な年代でスポーツ、体を動かすことにより健康的な体になり、競い合い相手の事を思いやり考えることで町全体が活性化するという。

<その他>

- ★ オリンピックのメダルを飾るところがほしい
- ★ 美幌はオリンピック選手をたくさん世に出しているのも、もっとスポーツを盛んにするべきだと思う。特にクロカンなどのウィンタースポーツを盛んに。
- ★ オホーツクにプロ野球チームをつくる
- ★ 美幌町の独自のスポーツを作れば美幌町を知ってもらえると思う
- スポーツ都市宣言を。本町出身者のスポーツ界での活躍は素晴らしいものがあるものの、オリンピックに出たときだけの盛り上がりでしかありません。本町のスポーツ少年団活動や中学、高校での部活動での活躍は全道的にみても目を見張るものがあります。ただ、これらの活動は地域に委ねられ、本格的な指導者の育成や活動団体への支援はほとんど行われていないのが現状です。オリンピック選手が出た時だけではなく、日々の活動に対する支援を含め、スポーツ大会の誘致・開催やスポーツイベントの開催等により交流人口の増加を図り、スポーツによるまちづくりを進めていければと考えます。
- 五輪選手や実業団などで活躍した方が現役を引退したら、町の職員として働いていただき、少年団や中学校の部活の指導に当たってもらう。詳しいことは分かりませんが、基礎トレーニングやメンタルトレーニングなど一流の指導を受けている方々なので、特定のスポーツだけではなく、幅広いスポーツに活かせるのではないのでしょうか？一部の自治体や民間で実施している総合型スポーツ少年団の設立。より多くの子ども達がスポーツを楽しむために、低学年のうちは、複数のスポーツを体験し、自分に合ったスポーツを選ぶ仕組みづくりがあると、将来的に生涯スポーツの促進につながるのでは？
- スポーツ合宿施設の整備・誘致活動。近隣市町村にスポーツ合宿団体が流れ、当町における商工関連企業の歳入が減少している。積極的な誘致活動の実践と施設、宿泊施設の整備を図ることで、団体の受け入れを可能とし、町全体を活性化する必要があると考える。
- 町内にあるスポーツ施設を活用し、実業団チーム等の合宿地候補としての売り込みやアピール活動を行うことで観光客確保・拡大に繋がると思われる。